

平成27年度

自己評価報告書

新潟工科専門学校

目 次

1 学校の理念、教育目標	1	4-15 卒業生の社会的評価	26
2 本年度の重点目標と達成計画	2	基準5 学生支援.....	27
3 評価項目別取組状況	3	5-16 就職等進路.....	28
基準1 教育理念・目的・育成人材像	4	5-17 中途退学への対応.....	29
1-1 理念・目的・育成人材像	5	5-18 学生相談	30
基準2 学校運営.....	7	5-19 学生生活	31
2-2 運営方針.....	8	5-20 保護者との連携.....	33
2-3 事業計画.....	9	5-21 卒業生・社会人.....	34
2-4 運営組織.....	10	基準6 教育環境.....	35
2-5 人事・給与制度.....	12	6-22 施設・設備等	36
2-6 情報システム	13	6-23 学外実習、インターンシップ等	37
基準3 教育活動.....	14	6-24 防災・安全管理.....	38
3-8 目標の設定	15	基準7 学生の募集と受入れ.....	40
3-9 教育方法・評価等	16	7-25 学生募集活動	41
3-10 成績評価・単位認定等.....	19	7-26 入学選考	43
3-11 資格・免許の取得の指導体制	20	7-27 学納金	44
3-12 教員・教員組織.....	21	基準8 財 務	45
基準4 学修成果.....	23	8-28 財務基盤	46
4-13 就職率	24	8-29 予算・収支計画.....	47
4-14 資格・免許の取得率	25	8-30 監査.....	48

8-31	財務情報の公開.....	49
基準9	法令等の遵守.....	50
9-32	関係法令、設置基準等の遵守.....	51
9-33	個人情報保護.....	52
9-34	学校評価.....	53
9-35	教育情報の公開.....	54
基準10	社会貢献・地域貢献.....	55
10-36	社会貢献・地域貢献.....	56
10-37	ボランティア活動.....	58
4	平成27年度重点目標達成についての自己評価.....	59

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>「将来の職業に関する高い専門能力を追求しながらも単に知識・技術教育に偏ることなく、広い視野と豊かな人間性を持った、創造力に満ちた人材育成の場」であることを趣旨とし、常に新しく変化していく時代に即した工科系専門学校として、新潟県の教育・産業の振興に寄与することを教育理念とする。</p>	<p>【スペシャリストの育成】 本校は現代社会の要請、特に地元産業の求める人材育成を目的とする。そのため、実社会で要望され、卒業後すぐに役立つ資格、技術、技能、知識を備えた「スペシャリスト」を育成することを目標とする。</p> <p>【豊かな人間性の育成】 資格、技術、技能、知識を持つと同時に、社会常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意志をもった技術者を育成することを目標とする。</p>

2 本年度の重点目標と達成計画

平成28年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>1. 指導方針、カリキュラムに従って短期間に豊富な知識と各種技能を修得するため、ハードな学習になるが確実に理解することに努める。</p> <p>2. 学習の基礎は徹底的な反復にあり、授業中に完全に理解できるよう努めることは勿論、予習、復習も絶やさないことに努める。</p> <p>3. 立派なスペシャリストを目指すという目標を常に念頭において学習することに努める。</p> <p>4. パソコン等を積極的に活用し、学習することに努める。</p>	<p>1. 各国家資格試験の合格目標を設定し各担当教員は具体的な指導方法を明確にする。又、社会が求める実践力についても常に実習や授業等で身に付けられるように授業計画書(シラバス)に反映する。</p> <p>2. 毎日の家庭学習の習慣を身に付けられるように課題を課することとする。</p> <p>3. 就職先の自分の将来像を明確にして、就職活動に専念する。企業の選択についても慎重に判断し、離職率低減を目指す。</p> <p>4. ITの活用が重要課題となっている。そこで平成27年度からiPadを新入生より導入したが、更に教育効果の高い活用方法を検討し高度な技術指導を目指す。</p>

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【理念・目的・人材像】 平成 6 年に開校し平成 28 年が 23 年目となり、卒業生約 5,700 名を輩出し、新潟県及びその周辺の地域で活躍している。</p> <p>開校当初から教育理念はかわらず、今も本校の職業教育・キャリア教育が新潟県を中心としたこの地域における社会貢献を続けていると考えている。</p> <p>しかしながら、現在、社会でどの程度この教育理念が浸透しているのかは明確に数値として示すことが出来ていない。</p> <p>卒業生・企業・保護者からの評価を明確にする方法を検討する必要がある。</p> <p>学校の将来構想については毎年中期的に定めており、教職員に対し周知している。しかし、対外的には具体的に示されていない状況である。今後どのような学校を目指すのかのビジョンをどのように表現し周知するかが課題である。</p>	<p>【理念・目的・人材像】 学校関係者評価委員（卒業生・企業）の方から意見を集約しその方法を検討していく。</p> <p>今後新たな高等教育機関を目指す本校として学校運営や教育理念といった根幹となるものをより明確にし、社会に理解され評価される学校づくりとしての中期的ビジョンを分かりやすくまとめることが重要と考える。</p>	

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input checked="" type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか	3	<input type="checkbox"/> 「学生の手引き」に記載し、入学及び進級時のオリエンテーションで指導している。 <input type="checkbox"/> 保護者に対しては、各学年で、年一回開催される保護者面談会にて配布資料に理念・目標等を記載し説明している。参加していない保護者に対しては、郵送にて送付して認知して頂いている。 <input type="checkbox"/> 毎年学校長のビジョンシートに目標・計画について記載し職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 関連業界（企業等）に対しては、企業向け学校案内に記載し周知している。	<input type="checkbox"/> 理念・教育目標の浸透度の確認が不明。	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会からの意見を活用していく。 ⇒学校説明会において教育方針を説明。	<input type="checkbox"/> 学生の手引き <input type="checkbox"/> 企業向け学校案内
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	3	<input type="checkbox"/> 学科毎に教育課程編成委員会を年2回開催し、社会が求める人材像、技術・知識・資格等をカリキュラムとシラバスに反映している。	<input type="checkbox"/> 求められる最先端技術習得のための実習環境整備が充分でない部分がある。	<input type="checkbox"/> 優先順位を考え整備計画を打ち立てる。 <input type="checkbox"/> 企業連携等で企業等の施設・設備機器を活用し最新技術の習得を図る。 <input type="checkbox"/> インターンシップを活用する。 ⇒平成28年度も同様に実施。	<input type="checkbox"/> カリキュラム及びシラバス集

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか <input checked="" type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	3	<input type="checkbox"/> 隙間の無い指導体制を確立するために企業等から講師の紹介をして頂いている。 <input type="checkbox"/> 全学科において関連企業等からの協力を得て実習・演習を実施している。	<input type="checkbox"/> 教材等の開発については、不十分な状況である。	<input type="checkbox"/> 今後企業等と連携し教材開発に取り組みたい。 ⇒費用、時間、人材などの課題が多い状況で今後も出来る事から検討していく。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4	<input type="checkbox"/> 学校長の定める中期的視点でのビジョンシートの中に具体的教育活動を盛り込み、取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> なし		
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	3	<input type="checkbox"/> 学校長は毎年11月ごろ中期的（3カ年）視点でのビジョンシートを作成し将来構想を定めている。 <input type="checkbox"/> 学校長は年度末に職員へ周知している。	<input type="checkbox"/> 保護者・学生・業界等への周知は不十分である。	<input type="checkbox"/> 各学科でオリエンテーションにおいて説明していく。 ⇒引き続き継続。	

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【運営方針】 学校長が3カ年の運営方針を定め教職員に周知している。</p> <p>【事業計画】 理念及び運営方針については3カ年の中期的視点として定め、事業計画（予算）については5ヶ年の中期的視点で定めている。</p> <p>【運営組織】 設置法人及び学校は適切に組織運営を行っている。</p> <p>【人事・給与制度】 設置法人の就業規則に規定され適切に運営されている。</p> <p>【情報システム】 情報管理システムは組織的に管理されている。 以上課題は見当たらない。</p>	<p>課題なし</p>	

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	<input type="checkbox"/> 学校長の定める中期的視点でのビジョンシートに記載している。 <input type="checkbox"/> 年度末において職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 職員はそれを基に目標管理シートを作成している。	<input type="checkbox"/> なし		

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中期計画（3～5 年程度）を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	<input type="checkbox"/> 学校長が中期的視点（3カ年）でのビジョンシートを作成している。 <input type="checkbox"/> 学校長をはじめ三役が事業計画（事業目標、予算）を作成している。 <input type="checkbox"/> 学校長をはじめ三役が事業計画を執行し、以下職員に対し業務分担を指示している。 <input type="checkbox"/> 毎月 1 回経営会議を開催し、分析・見直しを実施している。	<input type="checkbox"/> なし		

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、適切に実施している。 <input type="checkbox"/> 適切に議事録を作成している。 <input type="checkbox"/> 寄附行為は必要に応じて適切な手続きを経て改正している。	<input type="checkbox"/> なし		
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備している。 <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図を作成している。 <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標は明確にしている。 <input type="checkbox"/> 会議、委員会等は明確にされている。 <input type="checkbox"/> 議事録は作成されている。 <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規定等は整備され必要に応じて適正な手続きで改正されている。	<input type="checkbox"/> なし		

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	4	<input type="checkbox"/> 事務局員としての資質の向上のための研修会を適宜実施している。	<input type="checkbox"/> なし		

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input checked="" type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	<input type="checkbox"/> 人事・給与に関する制度については全て法人の就業規則等に規定されており適切に運用されている。	<input type="checkbox"/> なし		

2-6 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか <input checked="" type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input checked="" type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報については成績・出席状況を含め学籍管理システムにて一括管理している。 <input type="checkbox"/> 学生・保護者への情報提供は法人独自のツールを使用し一斉メールにて提供している。 <input type="checkbox"/> データの更新、情報の蓄積、システムのメンテナンス、セキュリティー管理等は組織的に実施されている。	<input type="checkbox"/> なし		

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【目標の設定】 教育課程編成委員会のもと各学科の教育到達目標等が定められ常に社会のニーズに対応した内容となっている。</p> <p>【教育方法・評価等】 各学科の教育目標達成に向け授業の内容やその方法などが常に教育課程編成委員会の指導の下改善され確実に授業計画書（シラバス）が作成されている。 しかし、科目担当によって内容の密度にバラツキがある。</p> <p>【成績評価・単位認定等】 成績評価基準は学則に規定されており、学生の手引きにも記載され学生にも周知されている。</p> <p>【資格・免許の取得の指導体制】 在校生に対する指導は動機付・取得指導も十分に計画され実施しているが、卒業生に対しては具体的な規定が無く、十分とは言えない。</p> <p>【教員・教員組織】 教員の確保について、計画的に補充を実施しているが、分野によって確保が難しい場合がある。 企業等と連携した教員研修は全員に対し義務化しているが、スケジュール合わせが困難である。 分野毎の組織において専門性を高めるため細部化を図ってきたが、分野毎の組織が手薄になってきた。</p>	<p>【教育方法・評価等】 授業計画書作成のための研修を行い、平準化を図る。</p> <p>【資格・免許の取得の指導体制】 授業の無い土曜日などを活用し対策授業を実施。</p> <p>【教員・教員組織】 募集開始時期を早める。 業界との連携を深める。 研修エリアを広げる。遠方への参加を可能にした予算編成とし、選択肢を拡大する。 分野の統合を検討する。</p>	

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4	<input type="checkbox"/> 教育課程編成委員会を設立し、各学科で教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針を定めている。	<input type="checkbox"/> なし		
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 各学科での教育到達目標、取得資格、取得指導体制を明確にしている。	<input type="checkbox"/> なし		

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか <input checked="" type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	3	<input type="checkbox"/> 職業実践専門課程の基本情報に以下の項目について明記している。 ・委員会の体制 ・議事録開催状況 ・授業科目等の概要、形態、授業時数 <input type="checkbox"/> 授業科目の内容・方法は授業計画書（シラバス）に記載されており授業終了後、実績書を作成し次年度授業改善に役立てている。 <input type="checkbox"/> 教育課程編成委員会の意見・提案をもとに内容・方法を改善している。 <input type="checkbox"/> 各学科において、全ての科目の授業計画書（シラバス）を作成し授業開始前に学生に対し周知している。 <input type="checkbox"/> 教育課程編成委員会を各学科において年2回開催しカリキュラムの改善を実施している。	<input type="checkbox"/> 授業計画書（シラバス）の内容密度については教員によってばらつきがある。平準化が課題となっている。	<input type="checkbox"/> 学校全体職員会等でシラバス作成をテーマとした研修会を開催し平準化を図っていく。 ⇒平成28年度に実施。	<input type="checkbox"/> 職業実践専門課程の基本情報

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか		<input type="checkbox"/> 企業と連携した実習・演習においては教育内容・教育方法については事前に協議しより実践的な訓練となるよう計画している。又、教材については、企業施設（機材等も含む）などを使用し最新の技術・知識の習得に役立てている。	<input type="checkbox"/> 企業側の受入りに制限がある場合があり、学生人数によってはローテーションが求められ、時間配分が課題となっている。	<input type="checkbox"/> 年間スケジュール作成時に事前に企業と摺り合わせを行い無理のない運営を計画する。又、複数の受入れ企業を確保する。 ⇒平成 28 年度も継続。	
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	<input type="checkbox"/> 教育課程編成委員には業界全体の動向に関する知見を有する業界団体、専攻分野について知見を有する企業等から就任頂いている。その中には本校卒業生及び本校卒業生の就職先企業も含まれている。 <input type="checkbox"/> その委員会の意見をカリキュラムの編成・改善に反映している。	<input type="checkbox"/> 全ての学科に卒業生や卒業生を受け入れている企業が含まれているとは限らない状況。	<input type="checkbox"/> 校友会と連携し教育課程編成内容、職業実践教育の効果に対する意見を聴取することを計画する。 ⇒平成 28 年度も継続。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	3	<input type="checkbox"/> 職業観、勤労観の育成は常に実施している専門教育が重要という方針のもと毎日が仕事に従事している意識で授業を行っている。 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力、情報収集能力、			

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	<input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	問題解決能力など職業的発達に関わる諸能力の育成にも積極的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について卒業生・就職先からの意見徴収は不十分である。	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員から意見を聴収する。 ⇒平成 28 年度も継続。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	<input type="checkbox"/> 年 2 回（前期と後期）全ての教員（常勤）は担任クラスと担任外クラスそれぞれ一科目ずつ授業アンケートを実施している。 <input type="checkbox"/> アンケート結果については教務部長、主任、担当教員にフィードバックし、評価の低い教員には校長が個別面談で改善策を指導している。	<input type="checkbox"/> 授業の科目（座学と実習）により評価結果が変動しやすい。 <input type="checkbox"/> クラスの人数が多い場合と少ない場合でも結果に影響が出てくる。	<input type="checkbox"/> 各教員が同条件でアンケートを実施できるように計画する。 ⇒同アンケートにおける問題点を人事に提案し、座学と実習で評価に平等性を欠かないよう改善した。	

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか	4	<input type="checkbox"/> 定期試験、成績評価等に関する基準は学則に規定しており、学生の手引きにも記載しているため学生は周知している <input type="checkbox"/> 卒業・進級については判定会議を年度末に開催し、不公平の無いよう客観性と統一性を確保し判定を行っている。	<input type="checkbox"/> なし		
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 担任が学生全員のコンテスト計画を把握しており結果については必ずクラス運営報告書に記載し報告する。	<input type="checkbox"/> なし		

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input checked="" type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	<input type="checkbox"/> 各学科で取得する資格は明確になっている。 <input type="checkbox"/> 資格取得に関連した授業科目はシラバスに明記してある。	<input type="checkbox"/> なし		
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	3	<input type="checkbox"/> 資格ごとに対策授業を計画している。 <input type="checkbox"/> 不合格者には翌年も受験できる場合は指導できる体制である。	<input type="checkbox"/> 卒業後の指導は不十分である。	<input type="checkbox"/> 土曜日や休日で学校が開催されている期間においてできる範囲で対応していく。 ⇒建築士専攻科において2級建築士不合格となった場合は翌年度の受講を可能としている。	

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 専任の場合は能力・資質に応じた授業科目を担当させている。 <input type="checkbox"/> 専任が担当する以外の科目については非常勤教員に担当させている。そのため、非常勤教員を採用するにあたり必要資格・資質・能力・経験等を明示し確認している。 又、関連業界（企業等）とも連携し人員の確保にあたっている。 <input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続きは法人規定等で定めている。 <input type="checkbox"/> 専任教員は24コマ（50分/コマ 授業）/週程度とし、非常勤教員は19コマ（50分/コマ 授業/週を上限としている。 <input type="checkbox"/> 教員一人当たりの学生数は講義授業と実習で異なり、管轄する省庁の規定によりきめている。	<input type="checkbox"/> 分野によって教員の確保が困難な場合がある。	<input type="checkbox"/> 募集開始時期を早める。 ⇒平成28年度も継続。 又、募集と同時に各分野の業界団体との連携を深め情報収集を実施する。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	3	<input type="checkbox"/> 目標達成度（資格取得率、コンテスト入賞数、就職内定率、退学抑止状況等）と学生アンケート等（授業、満足度）をもとに年2回評価している。 <input type="checkbox"/> 教員に対しては、年2回の企業連携の研修を義務付けている。（専門性向上、教員資質向上）	<input type="checkbox"/> 企業（業界団体等）と教員とのスケジュール合わせが課題。	<input type="checkbox"/> 新潟に限らず都市圏へも視野に入れ計画する。そのために旅費交通費・研修参加費の予算化を行う。 ⇒平成28年度においても研修費として予算化し積極的に研修に参加することとしている。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	3	<input type="checkbox"/> 分野毎に主任を運営の責任者として配置している。又その業務内容も明確にしている。 <input type="checkbox"/> 分野ごとに主任が担当教員の連絡調整役を果たしスムーズな運営を行っている。 <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法は教育課程編成委員会の意見を反映し学科毎で改善を行っている。	<input type="checkbox"/> 分野が細分化され過ぎているため分野内の組織体制が小規模化している。	<input type="checkbox"/> 分野の統合も考えていく必要がある。 ⇒平成29年度入学生より電気・エネルギー工学科の省エネルギー、自然エネルギー分野を建築設備科に統合し建築設備システム科に科名変更	

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【就職率】 学校内の就職支援体制は整っているが、企業等と連携した活動は合同ガイダンスなどであり、学校と個別に連携しての活動は少ない。</p> <p>【資格・免許の取得率】 学科毎に目指す資格を設定し対策授業などを計画し指導にあたっている。 資格の合格率は学校にとって重要項目にあたるため、教員にとっての業務目標のウェイトは大きい。</p> <p>【卒業生の社会的評価】 企業からの卒業生の評価は非常に重要である。それが直接学校評価につながると考える。 そのため校友会を通じて情報収集に努めているが卒業後の実態を十分に把握できていない。大きな課題となっている。</p>	<p>【就職率】 企業に働きかけ、個別に対応したガイダンス等の活動を図る。</p> <p>【卒業生の社会的評価】 次年度から校友会総会の参加申込みはWebを使って実施することとした。回収率は予測できないが今後このような方法で情報収集を向上させることを検討していきたい。 企業等へのアプローチも検討していきたい。 卒業生・企業から組織されている学校関係者評価委員からご意見を頂きたい。</p>	

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	3	<input type="checkbox"/> 学校全体の就職率目標と学科毎の就職率目標を設定している。(毎月の単月と累計を業務報告書に記載) <input type="checkbox"/> クラス運営報告書(学科単位)、業務報告書(学校単位)で報告するため常に把握している。又、就職状況が共有フォームで閲覧できる体制となっている。 <input type="checkbox"/> データは進路相談室で一括管理している。	<input type="checkbox"/> 関連企業と連携し就職セミナーなどを行っている場合が少ない。	<input type="checkbox"/> 企業に対して個別にセミナーはガイダンス等を行うよう働きかける。 ⇒平成 28 年度においても学校での個別企業ガイダンスを実施する方針である。	

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 学科毎に資格・コンテスト取得目標を設定している。 <input type="checkbox"/> 各資格については学科毎に対策授業を計画し実施している。 <input type="checkbox"/> 目標合格率は全国平均と比較し設定している。 <input type="checkbox"/> 合格実績に応じ指導体制を見直している。	<input type="checkbox"/> 常にナンバーワンの合格率を目指しているため指導体制の強化が課題となる。	<input type="checkbox"/> 十分な対策時間数を確保する。 ⇒平成 28 年度カリキュラムに反映。	

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	2	<input type="checkbox"/> 就職内定へのお礼連絡を実施し、その際に卒業生の様子を聞いている。企業訪問は実施していない。 <input type="checkbox"/> コンテスト、資格取得状況は情報公開からだけで把握している。	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先企業が県内全県にわたっており訪問による実態調査は難しい。	<input type="checkbox"/> Webを活用した情報収集が出来ないか検討する。 <input type="checkbox"/> 校友会が年1回総会開催の案内を情報発信しておりその際に情報収集をHPを使って実施する。 ⇒平成28年度も実施する。	

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【就職等進路】 学内に進路相談室が設置され、学生に対する就職支援体制は確立されている。 学生に対する指導もカリキュラムに含まれている。 企業と連携体制が確立されていない。</p> <p>【中途退学への対応】 退学抑止の対策が講じられている。 しかし、近年精神的な問題を抱えている学生が増えていることに対する対応が課題である。</p> <p>【学生相談】 カウンセラーは選任しているが、常駐していないため、緊急的な対応が出ない。 カウンセリングを希望した場合日程調整が必要となる。 留学生への支援は法人本部が設置している国際センターと連携して対応しているが、学校内ではまだ十分とは言えない。</p> <p>【学生生活】 学生の生活への支援体制は問題ない。</p> <p>【保護者との連携】 保護者との連携は、面談会、連絡ツールを通じ実施している。緊急の場合は直接電話で連絡。</p> <p>【卒業生・社会人】 校友会を通じ交流を図っている。 社会人に対する教育支援が充分でない。</p>	<p>【就職等進路】【中途退学への対応】 精神的に問題（他人とコミュニケーションが取れないなど）のある学生の指導が課題で、早い時期からの個別指導が重要。</p> <p>【学生相談】 カウンセラーに相談する前に担任が早めに対応し、カウンセラーの意見などを聞く。 留学生指導は担任が指導知識を習得し学科毎で対応可能な状況を生み出す。又、積極的に国際センターと連携をとる。</p> <p>【保護者との連携】 保護者面談会への出席率が充分でない。特に遠方から来ている学生の保護者は参加しにくいいため、出張面談会も検討する必要あり。</p> <p>【卒業生・社会人】 学校と校友会が連携してイベントを企画する。 厚生労働省が支援する講座（学科）で対応。</p>	

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input checked="" type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	3	<input type="checkbox"/> 進路相談室が学校の就職活動の支援部門として組織されている。 <input type="checkbox"/> 担任教員は進路相談室と常に連携し学生への就職活動を支援している。 <input type="checkbox"/> 進路相談室が管理している就職活動状況フォームに自由にアクセスでき、学校全体の就職活動状況を確認できる。 <input type="checkbox"/> 就職説明会、ガイダンス情報は進路相談室から学生に伝えられている。 <input type="checkbox"/> 2年間毎週1コマの就職活動の授業を実施。1年次の秋に就職セミナーと求職受付面接を実施している。	<input type="checkbox"/> 精神的な課題を抱えている学生への就職活動指導が課題となっている。 <input type="checkbox"/> 関連企業との就職関連の連携体制は確立されていない。	<input type="checkbox"/> 個別に指導体制を構築する。 ⇒学生の能力に対応した企業探しを実施。 <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員（企業）とから意見を聴取し参考とする。 ⇒平成28年度も継続。	

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	3	<input type="checkbox"/> 学校全体の退学抑止目標（2.5%以内）を設定している。又、各学科で目標を設定している。 <input type="checkbox"/> 欠課時間が 25 時間を超えた段階で退学抑止対象者として経過報告書を担任教員に提出させる。 <input type="checkbox"/> 教務部で欠席者を毎日報告し情報共有を図っている。	<input type="checkbox"/> 最近では精神的な悩みを抱えている学生が目立ってきていることが課題。	<input type="checkbox"/> できるだけ早い時期での対応に心がける。保護者との連携を強化する。 ⇒外部のキャリアカウンセラーによるカウンセリングで対応。	

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか	2	<input type="checkbox"/> 専任のカウンセラーを配置し相談に関する組織体制を確立している。 <input type="checkbox"/> 相談室は設置していないが、相談を希望する学生には保健室や応接室など個室を提供している。 <input type="checkbox"/> カウンセラーについての案内は学生の手引きに記載し周知している。	<input type="checkbox"/> 学校にカウンセラーが常駐していない。希望した時点からスケジュール調整が必要となる。緊急的な対応が出来ない。	<input type="checkbox"/> まずは担任教員が相談の窓口となり早めに対応する。 ⇒平成 27 年度は初期対応としての指導力向上を目指し、メンタルヘルスセミナーを実施。平成 28 年度も継続。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当教職員を配置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	2	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当教職員を配置している。(教務部長、校長) <input type="checkbox"/> 法人本部の留学生担当部門である国際センターと連携し対応にあたっている。	<input type="checkbox"/> 現在は留学生数が少なく特に問題はないが今後増加すると考えられるため、指導体制を強化する必要あり。	<input type="checkbox"/> 各教員が留学生に対する指導知識を習得し対応可能な体制を確立する。 ⇒平成 27 年度は留学生対応としての研修を実施。平成 28 年度も継続。	

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 公的奨学金制度に加え法人独自の奨学金制度を設けている。 <input type="checkbox"/> 分納制度を設けている。 <input type="checkbox"/> 入学前・入学後も各制度の情報提供は行っている。 <input type="checkbox"/> 事務局において全ての経済支援制度の相談を受け付け、把握している。	<input type="checkbox"/> なし		
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4	<input type="checkbox"/> 保健室を整備している。 <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施し記録は保管している。 <input type="checkbox"/> 再健診は適切に対応している。	<input type="checkbox"/> なし		

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	4	<input type="checkbox"/> 健康に関する情報リーフレット等を掲示及び配布し啓発を行っている。 <input type="checkbox"/> 特定の医療機関と連携し健康診断等を実施している。	<input type="checkbox"/> 特定の医療機関が学校から距離がある。	<input type="checkbox"/> マイクロバスで送迎して対応、場合によっては公用車で対応。 ⇒平成 28 年度も同様に実施。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	<input type="checkbox"/> 法人は学生寮を整備している。 <input type="checkbox"/> 学生寮は管理人を配置し学生の生活指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は明確である。	<input type="checkbox"/> 学生寮は学校から距離がある。	<input type="checkbox"/> 学校周辺のアパートで対応。 ⇒アパート以外に積極的に学生寮を斡旋。	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	4	<input type="checkbox"/> 現在クラブ活動は行っていない。 <input type="checkbox"/> 学生が希望し人数が確保されれば活動を開始する。	<input type="checkbox"/> 現在は特に課題は無い。		

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	3	<input type="checkbox"/> 各学年で年1回保護者会を開催している。 1年生は12月 2年生は4月 内容は個別面談会とし、進路（進学、就職）、成績、学校生活などについて面談している。 <input type="checkbox"/> 緊急時は、緊急連絡先へ連絡することとなっている。	<input type="checkbox"/> 保護者会の参加率が課題。	<input type="checkbox"/> できるだけ参加率を向上させたいため遠方においては出張形式を検討する必要あり。 ⇒平成27年度は実施できなかったため、平成28年度は引き続き実施に向けて検討。	

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	3	<input type="checkbox"/> 校友会を組織している。卒業後は必ず校友会へ入会する体制である。役員会へは教員が顧問として参加している。 <input type="checkbox"/> 卒業後の講座開講は難しく資格支援企業との提携を行い割引制度が活用できるようになっている。	<input type="checkbox"/> 毎年総会を開催しているが参加率が低い。	<input type="checkbox"/> 学校のイベントを同時に企画し参加率を向上させる。 ⇒昨年度に続き平成 28 年度も学校説明会に合わせてのイベントを実施。 学園祭と同窓会を同日に実施。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	1	<input type="checkbox"/> 産学連携の卒業後の再教育プログラム開発は実施していない。	<input type="checkbox"/> 在校生に対する連携は行っているが卒業生までは実施できる体制に無い。	<input type="checkbox"/> 今後の課題としたい。 ⇒平成 27 年度は課題の改善が出来なかったため、平成 28 年度も引き続き検討。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか		<input type="checkbox"/> 社会経験者と一般学生を区別していない。	<input type="checkbox"/> 社会人の入学数が少ない。	<input type="checkbox"/> ものづくり創造工学科が専門実践教育訓練に指定されたことから社会人の受入れの為の広報活動を開始する。 ⇒平成 27 年度のものづくりでの対象者がいなかったため、平成 28 年度も引き続き活動。	

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【施設・設備等】 学校の設備は管轄の諸官庁の規定を満たしているが、学生の学校生活における施設（食堂など）が充実していないのが課題。</p> <p>【学外実習、インターンシップ等】 学校以外の施設での実習や研修を計画的に実施している。 又、全学科において海外研修を全員参加で実施している。しかし、経済的な理由で参加できない学生も存在している。</p> <p>【防災・安全管理】 学生の手引きに災害時の行動について記載してあるがもっと詳細なものにする必要がある。 避難訓練は実施しているが、消火訓練は行っていない。 AEDが一つしか設置していない。 そのため、校外実習時に携帯できない。</p>	<p>【施設・設備等】 学生は各学科でホームルームを持っている。普段はそこで休憩・昼食をとっている。それ以外では各階のホールにテーブル・椅子を設け利用できるようにしているが、大分古くなっているものも有るので入れ替えや増設を検討する。</p> <p>【学外実習、インターンシップ等】 海外研修は入学前からしっかりと説明し、事前に理解を得ることと準備をお願いしていく。特にオープンキャンパスに参加した保護者にはしっかりと説明していく。</p> <p>【防災・安全管理】 消防署などから指導を受けながら高度なマニュアルにしていく。 消火器・水バケツなどで初期消火訓練を実施する。</p> <p>隣接他校にも設置してもらい、共有を考える。</p>	

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3	<input type="checkbox"/> 施設、設備、機器類は各省庁の設置基準に適合している。 <input type="checkbox"/> 実習室は学科毎に整備されている。 <input type="checkbox"/> 学生の休憩室・食事のスペースは確保されている。 <input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化は毎年整備を進めている。 <input type="checkbox"/> 手洗い設備など衛生管理は行っている。 <input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検は実施し点検表を保管している。 <input type="checkbox"/> 施設・設備等の改修は毎年計画的に実施している。特に人命に影響のあるものを最優先としている。	<input type="checkbox"/> 本校には学食施設が無く各学科のホームルームにて食事及び休憩をとっている。	<input type="checkbox"/> 各階ホールなどにテーブルや椅子を追加配置し対応する。 ⇒予算的な問題で保留状況	

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	3	<input type="checkbox"/> 法人が所有する学外施設にて毎年2回～3回の実施を義務付けている。内容は各学科で企画している。(特別教育、視察研修、就職研修、マナー研修など) <input type="checkbox"/> CFP(カレッジリーグフィールドワークプログラム)として「豊かな人間性の育成」という教育方針実現に向けて学外でのイベントに参加することを学生の手引きに記載し自己啓発意欲の育成を図っている。(年間3ポイント以上を義務化) <input type="checkbox"/> 海外研修は在学中全員参加を原則としている。	<input type="checkbox"/> 海外研修において経済的理由で参加を辞退する学生が存在する。	<input type="checkbox"/> 入学前から海外研修について説明し、ご理解と共に事前に準備して頂く。 ⇒平成27年秋にヨーロッパにおいてテロが発生し一部の研修を中止した。 平成28年度は状況を観ながら渡航先の検討を行う。 学校説明会における保護者に対する具体的な内容説明を継続。	

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	3	<input type="checkbox"/> 災害発生時の行動は学生の手引きに記載されており、入学時オリエンテーションで避難経路と共に周知徹底している。 しかし、行動マニュアルとしては十分とは言えない。 <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化には対応している。 <input type="checkbox"/> 消防設備等の保守点検は行っている。 <input type="checkbox"/> 毎年1回避難訓練を実施している。 <input type="checkbox"/> 職員によるAED訓練を実施している。	<input type="checkbox"/> 消火訓練は実施していない。 <input type="checkbox"/> 防災時の行動マニュアルをもっと詳細に整備する。	<input type="checkbox"/> 消火器などによる初期消火訓練などを計画する。 ⇒平成 27 年度は安全計画及び危険管理マニュアルを作成。 平成 28 年度に運用を開始し、定期的に見直しを行う。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	3	<input type="checkbox"/> 防犯体制は施錠のみとなっている。 <input type="checkbox"/> 学生・職員全員に防災グッズを常備しており、授業中・勤務中に災害が発生した場合それを持って避難することとしている。	<input type="checkbox"/> 防犯に対するセキュリティに課題がある。 校舎を複数校で共有しており、防犯管理が複雑化している。	<input type="checkbox"/> 授業終了後の施錠確認が重要であり、防犯管理体制を明確にし、強化を図る。 ⇒平成 27 年度はルール化が出来なかったのが平成 28 年度にルール化。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	3	<input type="checkbox"/> 実習で使用している薬品は施錠で管理している。 <input type="checkbox"/> 学外への移動は運転代行を委託している。(マイクロスバス使用時)	<input type="checkbox"/> 学外実習（実習周辺にAEDが無い環境の場合）においてAEDを携帯出来ない。（複数ないため）	<input type="checkbox"/> 複数のAEDを整備して学外実習での携帯を検討する。 ⇒平成 29 年度に整備予定。	

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【学生募集活動】 募集活動は適切に且つ効果的に実施されている。</p> <p>【入学選考】 入学選考基準を明確にし、適切に行われている。 入学選考の結果についてはデータ管理している。</p> <p>【学納金】 学納金等については募集要項に明記し、入学希望者に対し伝えている。 以上課題は見当たらない。</p>	<p>課題なし</p>	

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4	<input type="checkbox"/> 高等学校へは進学説明会に参加し教育内容・就職内容・資格取得状況の情報提供を行っている。 <input type="checkbox"/> 高等学校の教員に対して個別に説明している。 <input type="checkbox"/> 教員は保護者に対して年2回学科通信を作成し学科の教育状況を伝えている。	<input type="checkbox"/> なし		
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input checked="" type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input checked="" type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 募集活動については全てにおいて適切に実施されている。	<input type="checkbox"/> なし		

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4	<input type="checkbox"/> 適切に実施されている。	<input type="checkbox"/> なし		

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は規定等で明確となっている。 <input type="checkbox"/> 入学選考は規定等に基づき適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 入学選考は公平性を保たれている。	<input type="checkbox"/> なし		
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか	4	<input type="checkbox"/> 入試結果のデータは適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数は事前に予測値として算出している。毎年の傾向として把握している。	<input type="checkbox"/> なし		

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	<input type="checkbox"/> 学納金については募集要項に全て明記されている。	<input type="checkbox"/> なし		
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	<input type="checkbox"/> 入学辞退者に対する授業料等の返還取扱いに対しては募集要項等に明記されており適切に取り扱っている。	<input type="checkbox"/> なし		

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【財務基盤】 学校運営に係る財務基盤は安定しており、財務分析も行っている。 18歳人口の減少や高校新卒者の就職状況などの外部要因の変動による収支への影響が課題としてある。</p> <p>【予算・収支計画】 予算計画に関しては教育目標との整合性を図り長中期的な計画を図っている。</p> <p>【監査】 法人として適切に外部監査を受けている。</p> <p>【財務情報の公開】 適切にホームページに公開されている。</p> <p>以上課題は入学者数の変動による財務基盤への影響となっている。</p>	<p>【財務基盤】 その影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていく。</p>	

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input checked="" type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか <input checked="" type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか <input checked="" type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	<input type="checkbox"/> 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てている。	<input type="checkbox"/> 18歳人口の減少や高校新卒者の就職状況などの外部要因の変動による収支への影響が課題。	<input type="checkbox"/> その影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていく。	
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 同上	<input type="checkbox"/> 同上	<input type="checkbox"/> 同上	

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input checked="" type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	<input type="checkbox"/> 毎年予算編成の課程については明確になっており予算編成に際し教育目標、中期計画、事業計画と整合性を図っている。	<input type="checkbox"/> なし		
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input checked="" type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 予算管理については毎月の経営会議にてチェックされ予算と決算の乖離が生じないように執行管理されている。	<input type="checkbox"/> なし		

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	<input type="checkbox"/> 法人として適切に外部監査を受けている。	<input type="checkbox"/> なし		

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input checked="" type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	<input type="checkbox"/> 適切にホームページに情報公開されている。	<input type="checkbox"/> なし		

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【関係法令、設置基準等の遵守】 設置基準に基づき届出等は実施されている。 コンプライアンス規定に関しては認識不足の部分もあるので再教育が必要である。</p> <p>【個人情報保護】 個人情報保護に関するマニュアルがあり、教職員に対し周知されている。</p> <p>【学校評価】 自己評価、学校関係者評価いずれも組織化され適切に行われている。 参加者の範囲を更に広げることが望まれる。</p> <p>【教育情報の公開】 学校情報としてホームページに公開している。</p>	<p>【関係法令、設置基準の遵守】 職員会等でコンプライアンス規定の確認研修を行いたい。</p> <p>【学校評価】 自己評価では全ての職員の意見を集約。 学校関係者評価では地域の代表者、高校関係者の参加。</p>	

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3	<input type="checkbox"/> 関係法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部が窓口となり一括して行っている。又、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。 <input type="checkbox"/> セクシャルハラスメント防止策は学生の手引きに詳細に記載されており学校長が学内対策委員として対応にあたっている。 <input type="checkbox"/> 法人でコンプライアンス規定を設け教職員に対して意識の徹底を図っている。	<input type="checkbox"/> コンプライアンスに関する研修・教育が充分ではない。	<input type="checkbox"/> 職員会等で教職員に対しコンプライアンス規定の確認研修を実施する。 ⇒平成 27 年度において実施できなかったのが平成 28 年度に実施する予定。	

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<input type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。又、法人本部が規定した個人情報保護に関するマニュアルがあり、教務室、事務局に常備することで教職員に周知している。	<input type="checkbox"/> なし		

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	3	<input type="checkbox"/> 自己評価委員会を設置し年度末に自己評価を実施している。 <input type="checkbox"/> 自己評価を学校関係者評価委員からの意見をもとに学校改善に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 自己評価で職員全員の参加が難しい。	<input type="checkbox"/> 職員会等で教職員が直接関連する項目について話し合う時間をとる。 ⇒教務部会、職員会での実施を検討中。	
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載し広く情報公開している。	<input type="checkbox"/> なし		
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 実施のための組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	3	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会を組織し開催している。 <input type="checkbox"/> 設置課程学科に関連した業界等及び卒業生から委員を選任している。 <input type="checkbox"/> 評価に基づき学校改善に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員に、高校教員、地域の代表、保護者が含まれていない。	<input type="checkbox"/> 今後自治会や高校教員の方にも参加を呼び掛けていく。 ⇒平成 28 年度は開志学園高等学校から参加。	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	<input type="checkbox"/> 評価結果は報告書にまとめホームページに掲載し広く社会に情報公開している。	<input type="checkbox"/> なし		

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	<input type="checkbox"/> 学校情報として、学校の概要、各学科の教育内容、教職員、実践的職業教育、様々な教育活動と教育環境などをホームページに掲載し社会に公開している。	<input type="checkbox"/> なし		

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【社会貢献・地域貢献】 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献は十分に行われていると思われる。 今後社会的評価を受けるまで高めたい。 留学生の受入れを促進する教育課程の編成が課題。</p> <p>【ボランティア活動】 ボランティアへの参加を促す規則があるが、ボランティアに参加する学生の人数が非常に少ない。</p>	<p>【ボランティア活動】 学生主体での参加では動員に繋がらない。学校が主体的に動く必要がある。 クラス単位でのイベントとして企画することも考える必要あり。</p>	

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input checked="" type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input checked="" type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4	<input type="checkbox"/> 学校長のビジョンシートに産学連携に関する方針が作成されている。 <input type="checkbox"/> 学校施設・設備を国家試験等の試験機関に開放し学校が目指す国家資格の試験会場として使用している。受験する学生にとっても精神的に優位となっている。 <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業「環境・エネルギー分野における中核的人材養成プログラム開発事業」の実施委員会委員として参加し、実証実験講座も開講した。 <input type="checkbox"/> 県内の工業高校に本校の教員を土木・測量分野の講師として派遣する予定である。 <input type="checkbox"/> 佐渡市が主催している土木施工管理技士の対策授業に本校の教員を派遣している。 <input type="checkbox"/> 柏崎市荻ノ島の過疎地域における活性化事業に建築大工科と建築デザイン科が参加した。	<input type="checkbox"/> 課題なし		

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か	<input checked="" type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	2	<input type="checkbox"/> 国際交流については学校長の運営理念・方針に明文化されている。 <input type="checkbox"/> ロシアの大学関係者と交流会を開いた。 <input type="checkbox"/> 留学生受入れを促進する教育課程の編成がなされていない。	<input type="checkbox"/> 就労ビザの問題が留学生獲得の課題となっている。 <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と研修実施などの交流が行われていない。 <input type="checkbox"/> 留学生受け入れを促進するための教育課程、教育内容・方法等の情報発信を国外へ積極的に実施されていない。	<input type="checkbox"/> 国際センターと連携し、本国への技術移転に関心のある留学生の発掘を行う。 ⇒引き続き連携。 <input type="checkbox"/> 今後Webの国際化を検討する。(現状は簡潔な学科紹介ページとして5か国の外国版が掲載されている。) ⇒引き続き検討。	

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input checked="" type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	3	<input type="checkbox"/> CFP（カレッジリーグフィールドワークプログラム）でボランティアに参加することを奨励している。 <input type="checkbox"/> 法人全体で紹介・企画しているボランティアに参加している。 <input type="checkbox"/> ボランティアに参加した場合報告することになっており、把握及び評価している。 <input type="checkbox"/> ボランティアに参加する学生数が少ない。	<input type="checkbox"/> CFP以外でのボランティア参加率が少ない。	<input type="checkbox"/> 個別ではなくクラス単位での参加が効果的と考える。 ⇒ イベントを増やしそれらに係るボランティア活動を推奨。	

・ 4 平成 27 年度重点目標達成についての自己評価

平成 27 年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>1. 指導方針、カリキュラムに従って短期間に豊富な知識と各種技能を修得するため、ハードな学習になるが確実に理解することに努める。</p> <p>2. 学習の基礎は徹底的な反復にあり、授業中に完全に理解するよう努めることは勿論、予習、復習も絶やさないと努める。</p> <p>3. 立派なスペシャリストを目指すという目標を常に念頭において学習することに努める。</p> <p>4. パソコン・タブレット等を積極的に活用し、学習することに努める。</p>	<p>1. 教育活動においては十分な成果があった。成果は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士合格者数 15 名 ・ インテリアコーディネーター合格者数 3 名 ・ 新潟県建築士会競技設計 大賞受賞 (2 年連続) ・ インテリアデザインコンペ 入賞 (2 年連続) ・ 2 級建築施工管理技術検定学科試験合格数 38 名 ・ 2 級土木施工管理技術検定学科試験合格数 23 名 ・ ものづくり創造工学科で特許取得 (2 年連続) ・ 第一種電気工事士合格数 18 名 <p>各担当教員が指導方針とカリキュラムを理解し学生指導にあたったため昨年と同様に十分な結果となった。</p> <p>又、学生も教員の指導の下ハードな学習に耐えたことでコンペ・特許などで昨年に続いての連続入賞などを達成できた。</p> <p>2. これについても 1 と同様に毎日の学習成果が目標達成の要因となった。</p> <p>3. 就職内定 100%を達成と同時に専門職への就職率も向上している。スペシャリストとして社会で活躍することを期待したい。</p> <p>4. 全学科 (1 年次) i - p a d 導入ということでスタートしたが、活用法については教員が試行錯誤しており、まだ課題が残る。</p>	<p>1. 国家資格を中心とした検定対策は好成績となったが、実践力の習得と実社会でのコミュニケーション能力が課題と言える。</p> <p>2. 1 年次より家庭学習の習慣を身に付けることを目標として行きたい。</p> <p>3. 昨年度に引き続き就職率の向上と共に離職率の抑制が課題となる。卒業後の状況はなかなか把握できないが社会から評価されるためには長く続けることが出来る忍耐力が求められる。厳しい指導と共に実社会の厳しさを体験する機会をつくりたい。</p> <p>4. 教材開発業者との連携を引き続き行っているが、まだ十分とは言えない。又、ネット環境の脆弱さが課題となっており早急の改善を要する。</p>